



昭和100年、ピンチの裏にチャンスあり

取締役執行役員
堀 賀郎

本年2025年は昭和100年に当たります。戦後の世界に構築された政治的、経済的な秩序や価値観は大きく変化し、その柱であった米国があのような関税政策を講じる時代になりました。世界の産業構造も様変わりし、隆盛を誇った日本の製造業でも内需の縮小や新興国の台頭などの大きなうねりの中で数々の産業が退場を余儀なくされました。足下でも中国での日系自動車の苦戦に見られるように日本の製造業への競争圧力は高まり続けており、この流れは止まりません。

当社がこうした競争圧力に耐えて生き抜いて来られたのは、先輩方の叡智と努力により築いてきた当社の製品品質が絶対的な価値を持っていたからではないでしょうか。

これまで起きている量的な変化の延長線上で考えると当社の未来は決して明るいものではありませんが、今世紀に入ってから急加速している質的な変化を通してみると明るい未来があります。昭和の100年の間に桁違いに豊かになった人類は、かつてないレベルで自身を守ることに意識を向けています。環境に対する意識や安全と安心への要求の高まりは止まるところを知りません。

幸いにも日本には当社同様に熾烈な競争を生き抜いてこられた世界に冠たる技術を擁する多くのお客様がおります。環境負荷が低く清浄度が極めて高い鋼材を当社がご提供し、最先端の技術と効率を有するお客様がそれを用いて絶対的な安全と安心を約束する製品を市場に送り出す、この最強のサプライチェーンが日本にはあります。こうした製品は今後益々多くの人々に求められる絶対的な価値です。人類の欲求の質的な変化というチャンスを活かすべくサプライチェーン全体でこの絶対的な価値を磨くことこそが、我々の明るい未来を切り拓く道です。

政治や経済の秩序や価値は大きく変化するものであり後退することさえありますが、絶対的な商品価値は不変です。それを維持し進化させることは決して容易ではありませんが、最強サプライチェーンの一角を担う者として、昭和100年も当社は最先端の研究開発と生産技術の更なる向上に全力で取り組んでまいります。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。